

- 生活支援 見守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

23 野菜づくりグループ「青葉会」



薩摩川内市 高齢・介護福祉課

地域の概要



永利地区は三方を山に囲まれた地形が特徴で市立少年自然の家てらやまんちや薩摩川内市せんだい宇宙館など豊かな自然と歴史に育まれた魅力的な地域です。



取組のきっかけ

定年を迎えた男性たちがこれからをどのようにすごしていくか考えていた時に同じ趣味を通じてコミュニケーションを図り交流することを目的に取り組みを開始

活動の概要

【活動内容】

種を植え、苗まで育てたものをそれぞれの畑に持ち帰り育てている。畑の状態を気にかけて合うことでコミュニケーションが図られ、アドバイスをし合いながら活動している。その他メンバーの自宅に集まり、茶話会や昼食会、忘年会など行い、思いを分かち合っている。

【活動人数】10名

【参加条件】特になし。自治会外の方も参加可能。



野菜づくりの先生
北原さん

青葉会の母
つや子姉さん

高齢になり脱退を考えたこともあったが、みんなに誘われ足を運び続けている。楽しみの場になっている。

野菜も人と同じ「生きている」という気持ちで見ると自然とどう接していけばよいかわかる。



【活動に関わった人・団体】

民生委員児童委員、健やか支援アドバイザー、地域住民、生活支援コーディネーター、支え合い推進員

取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

【行政担当者としての役割】

- 「みんなのつながり発表会」の開催にて、趣味活動を通じた集まりの場から生まれた助け合いの様子を見える化、見せる化。
- SCと定期的な情報共有

【SCとしての役割】

- 青葉会の活動を通じてそれぞれの役割や効果を伝え、認識してもらった
- 地域の相談、ネットワーク構築



取組の目的

- 定年を迎えた男性の生きがいづくり
- 同じ趣味を持つ仲間とのコミュニケーションの場
- 野菜づくりのノウハウの伝達
- 見守りや支え合いの場

これまでの経緯

年・月	出来事
平成24年	定年を迎えた男性たちにより、野菜づくりグループ「青葉会」の結成
	店舗で育てた野菜の販売
平成25年	活動なしで26年度へ
平成26年	再スタート 青葉会会員が夏野菜の苗の売り上げを寄附。それぞれの畑で栽培
平成30年	懇親会や忘年会を開催 ※定期的に茶話会なども開催
令和4年	夏野菜の苗の準備を個人で行うようにする

現時点での到達点（効果・課題など）

【効果】

- 会員同士の支え合いの場
- 会員だけでなく、家族同士のつながり
- 生きがいややりがい
- 活動自体が介護予防

【課題】

- 会員の高齢化
- 若い世代とのつながりづくり